

兵庫県加東市

容器開発で弁当の密閉性・保温性を実現 世界市場進出に向けた海外企業との連携

1969年5月に発泡樹脂加工及びその販売を目的に創業した簡易食品容器製造メーカーである。賞味期限の延長やロングライフ惣菜トレー・容器のニーズに素早い対応が可能であり、小ロット多品種、柄印刷による意匠性付与、非対称層構成も手掛けられるなどから、大手外食チェーン店からも高い評価を得ている。また、オーダーメイド商品や高付加価値商品の開発・提案力に強みを持ち、環境に配慮した紙製品開発にも取り組んでいる。

●所在地	兵庫県加東市屋度734-5	●設立	1969年
●電話/FAX	079-542-4001/079-542-4002	●資本金	8,000万円
●URL	http://www.kpplatec.co.jp	●従業員数	110人
●代表者	代表取締役 大西 一成		



密閉性・保温性に優れ消費期限延長を可能にする内嵌合容器の開発

当社が製造する容器は、主に弁当や惣菜の持ち帰りを目的としている。ユーザーが持ち帰りをする際の汁漏れへの懸念から開発したのが「内嵌合容器」である。これは、従来にはない高い密閉性と保温性を保持し、汁漏れを防ぐ役割とともに、ポリスチレンペーパーを組合せることで、「美味しさ・温かさ」の維持に繋がっている。また、容器内のバリアフィルム加工で消費期限延長を可能にし、食品ロスにも貢献している。なお、内嵌合容器の形状には特許を取得している。



内嵌合容器

紙容器の日本市場に向けて台湾の製造拠点との連携

台湾にあるパルプモールド容器製造・ラミネート加工企業と日本マーケットに向けて、台湾の製造技術と日本の開発能力を組み合わせ協力関係を築き、パルプモールド容器を輸入できる日本唯一の販売代理店である。パルプモールド容器には防水性・耐油性・耐熱性を持たすために生分解樹脂など保護フィルムを貼り、紙粉を防ぐため外側を特殊加工している。現地では当社スタッフが品質管理、技術指導を図るなど関係性を強化。紙容器のプラスチック代替品推進など世界基準での環境問題への役割を向上。



ホテレス展示会

地元との協力関係を確立し地域の雇用確保・災害対応に貢献

兵庫県加東市に加え関西と関東に工場を置いている。当社は国内に11社、兵庫県下においては姫路市、加西市それぞれ1社ずつ協力会社があり、食品容器製造にかかる外注先として協力関係を確立。また、100%地元採用を行い、地域の雇用確保に取り組んでいる。近年、大規模な自然災害が全国各地で頻発しているなか、ハザードマップやJ-SHISを活用した災害リスクへの対応を整えている。過去の阪神大震災、東日本大震災発生時には、清潔な容器の無償提供を速やかに行うなど早期の復興に向けて取り組んでいる。



製造現場